

キャリアアップ通信

Vol.8

2021年 11月号
発行：医療局職員課

はじめに

皆さん、こんにちは！岩手県医療局職員課人事担当です。
県立病院で働く職員を紹介する「キャリアアップ通信」の第8号が完成しました。
今号では超音波検査士と皮膚・排泄ケア認定看護師の2名を紹介します。
資格取得のほかに、仕事と家庭の両立やワーク・ライフ・バランスについても話を伺いましたのでぜひご覧ください！

県立病院の認定看護師への道 (緩和ケアなど17分野 98名在籍)

特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践ができる看護職員を養成しています！

【対象者】

- ・ 看護師経験が概ね5年以上（うち認定看護分野での実務3年以上）で40歳以下の看護職員
- ※医療局での選考後、派遣機関の入学試験合格をもって正式決定

【服務の取り扱い】

- ・ 派遣中は出張の取り扱いとし、旅費等を支給
- ・ 派遣中も給与を支給
- ・ 入学試験及び修了試験等に出席するための旅費、審査料を支給

■看護師の資格取得に係る今年度の選考(内定)状況

- ・ 認定看護師派遣 **3名**
- ・ 助産師内部養成 **4名**

引き続き、みなさんのキャリアアップを支援していきます！

岩手県医療局ホームページにバックナンバーを掲載していますので
そちらもご覧ください

【岩手県医療局職員課人事担当 ☎019-629-6861】

超音波検査士への道 (県立病院に34名在籍 ※複数分野資格所持者あり)

【超音波検査士とは】

日常臨床の場で超音波検査の重要性が加速度的に高まっている社会のニーズに応えるべく、超音波検査の優れた技能を有するコメディカルスタッフを認定する制度であり、公益社団法人日本超音波医学会が認定しています。

【申請のための必須要件】

- ・ 3年以上継続して、日本超音波医学会の正会員・シニア会員・準会員のいずれか、または日本超音波検査学会の正会員であること。
- ・ 必要症例数の超音波検査実績があること。

岩手県立病院では職域団体での審査のうえ、各種研修、学会等へのお出張派遣を支援しています！ (参加費、旅費、認定料等公費負担)

ワーク・ライフ・バランス維持のための制度 (一例)

【休暇制度】

休暇の種類	取得できる日数等
年次休暇	採用の年/15日 2年目以降/年間20日 (残日数は20日まで繰越可：最大40日)
病気休暇	3ヵ月以内 (生活習慣病等は6ヵ月以内) ※有給 100/100
病気休職	3年以内 ※休職開始から1年間は有給 80/100
介護休暇	通算して6ヵ月の範囲内 (無給)
特別休暇 (例)	◎夏季休暇/5日 ◎結婚休暇/7日以内 ◎急引休暇/1~10日 ◎ボランティア休暇/年間5日以内 ◎生理休暇 ◎健康診断休暇 ◎リフレッシュ休暇 など

【育児支援制度】

- ・ 育児休業
- ・ 育児短時間勤務
- ・ 部分休業

【その他】

- ・ 院内保育所の設置

ワーク・ライフ・バランスを維持しながらキャリアアップしましょう！

私が岩手県立病院を選んだ7つの理由 ☆絶賛 YouTube で公開中

岩手県立病院

検索



7つの理

ショートドラマ

超音波検査士(消化器領域)

軽米病院 臨床検査技術科 臨床検査技師

 佐藤 香織 さん
Q 資格を取得しようと思ったきっかけを教えてください。

私が超音波検査士の資格を目指したきっかけは、上司の勧めがあったことや、資格取得の勉強を通して超音波検査の知識を深めることができると思ったからです。

Q 資格取得後の院内での活動状況を教えてください。

現在は地域病院勤務のため、午前は検体検査・生理検査を主に担当していますが、午後は検査依頼に応じて心臓・頸動脈等の超音波検査を行っています。

また、岩手県立病院には圏域の基幹病院と定期的に業務交流を行う仕組みがあり、基幹病院である二戸病院で腹部・心臓等、様々な症例の超音波検査を行っており、スキルの維持に役立っています。

Q 仕事と家庭の両立についてお聞かせください。

我が家には4歳の「姫」と2歳の「怪獣」がいます。仕事と家庭の両立は思っていた以上に大変で、毎日「ばたばた」と過ごしています。子どもが小さいうちは特に手がかかるので、育児時間を活用しました。また、子供は本当によく体調を崩すので、急に休まなければならないこともあり、そのときは「子の看護休暇」制度を利用しています。

Q これから資格取得を目指す方へアドバイスをお願いします。

超音波検査士認定試験を受験するには、日本超音波医学会または日本超音波検査学会に3年以上所属している必要があるため、早めに入会した方が良いでしょう。試験は書類審査(20症例のレポート提出)と筆記試験があります。書類審査に必要なレポートでは、消化器領域の場合、肝臓・胆嚢・膵臓・消化管などの分野ごとに症例を集める必要があり、普段検査する機会の少ない分野の症例集めに苦労しました。岩手県立病院では資格取得支援の制度として、地域病院等で働いている職員も基幹病院へ行って受験に必要な症例を経験することができるので、積極的に活用すると良いと思います。

また、資格所得はなるべく早いうちに！できれば子供が産まれる前にチャレンジした方が良いと思います。私は結婚・出産前に資格を取得しましたが、子供が産まれてから自分のために使える時間はかなり減りました・・・若いうちにチャレンジすることに越したことはないと思います！

Q その他、みなさんに伝えたいことがあればお願いします。

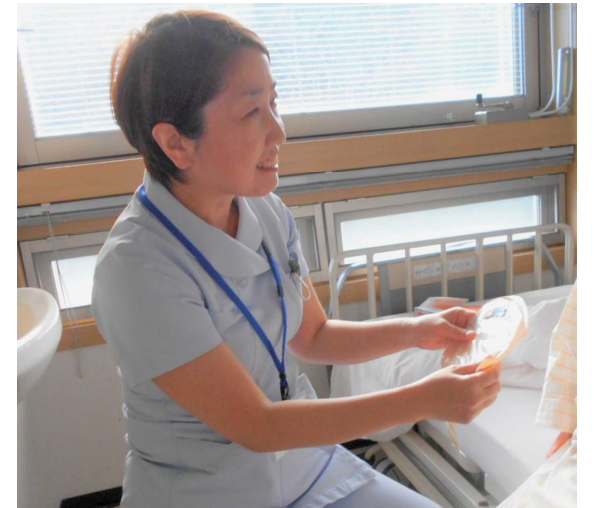
超音波検査は、非侵襲的にリアルタイムで患者さんの体内を検査することができ、臨床からのニーズが高い検査です。診断に直結するため責任は重いですが、その分やりがいもあります。資格取得は大変ですが、必ず糧になるので積極的にチャレンジしてみてください！

最後に、資格取得時から、妊娠・出産後もたくさんの方に助けをいただけて働き続けることができているので、本当にありがとうございます。



皮膚・排泄ケア認定看護師

磐井病院 看護科 主任看護師 ※宮古病院への応援勤務中


 小野寺 喜代 さん
Q 資格を取得しようと思ったきっかけを教えてください。

泌尿器科病棟で尿路ストーマケアに携わり、管理が難しい状況の患者さんと接する中でもっと専門的な知識を身につけたいと思ったのがきっかけです。漏れないように祈りながら装具を貼っていたのを覚えています。積極的に勉強会に参加していた私に病棟師長が情報提供してくれました。

Q 研修中の様子を教えてください。

北は北海道から南は九州まで、様々な地域の仲間と研修を受けました。試験やレポートに追われる毎日で大変でしたが、その時苦楽を共に分かち合った同期の仲間は一生の宝物です。10年たったいまでも同期の間で情報共有しています。

Q 現在の勤務状況について教えてください。

専従の皮膚・排泄ケア認定看護師、褥瘡管理者として活動しており、現在は本務地から離れた病院で応援勤務を行っています。朝、カルテから患者情報を収集したあと、各病棟をラウンドし、担当看護師と患者情報を共有し、創傷・ストーマ・排泄分野の処置時間を検討します。困ったときは電話連絡してもらい、一緒にケアを実践しています。外来では毎週水曜日にストーマ外来を実施しています。皮膚トラブルや褥瘡のある患者さんの対応についても相談を受けています。

Q 資格を活かして病院で働くうえで大事にしていることは何ですか。

「スタッフが気持ちよく働けるようにサポートすること」が役割と考えています。スタッフ一人一人が患者さんの気持ちに寄り添えるように、自分のスキルを活かしサポートすることを心がけています。お互いが「Win-Win」の関係になることを目指しています。

Q ご自身のワーク・ライフ・バランス維持のため、何か行っていることはありますか。

劇団活動時の一コマ
(左下:小野寺さん)

高校生のころ演劇部に所属しており、その関係で19歳で劇団の旗揚げをし、20年以上活動していました。盛岡だけでなく、東京・仙台で公演を行ったこともあります。現在は活動休止していますが、おばあさんになってまたお芝居できるといいね、とみんなで話しています。いろんな職種の仲間と共に一つの作品を作り上げることは職場では味わえない経験です。当時のブログで「生きてるなかで今一番つらい」と何年かおきに書いている自分がいて、後から見ると笑えます。でも、つらいから楽しいことも沢山あり、それが自分の生活を支えていたと感じています。本当に素敵な思い出ばかりです。

Q これから資格取得を目指す方へアドバイスをお願いします。

忙しい毎日の中でも何か目標を見つけることでモチベーションが上がることもあります。少しでも興味があったり、やりたいことがあれば、興味のある専門、認定看護師などに相談してみるといいと思います。